

## 都市計画道路

### 八幡根岸線―中央線の早期着工を

赤川 堅一郎

市内小中学校統合計画と学校給食センター改築計画について

**問** この度示された小中学校統合案を計画通り実施していくため、地域とのコンセンサスを取得する取組みの方針と学校給食センターの改築計画の具体的推進について伺う。

**答** 関係する地域ごとに統合基本構想策定委員会を組織して参りたい。構成メンバーとしては、地域住民代表、学校関係者を予定している。また給食センターの建設計画は、建設後30年以上経過しているものもあり、各センターの状況を勘案しながら学校統合計画との整合性を図り今年度中に策定したいと考えている。

### 消防本部の広域化計画について

**問** 県の広域化計画では、平成24年まで横手市消防本部と湯沢雄勝広域市町村圏組合消防との統合が計画されているが、市としてどう取り組んで行く方針か。

**答** 横手市としては、消防は市民の生命に直接かわる救急問題であることから現在すすめている分

署統合計画も考慮しつつ広域化の取組みを主体的に行うため、どのような体制が市民にとって望ましいか庁内で意思統一を図り協議に臨みたいと考えている。

**問** 都市計画道路八幡根岸線・中央線の早期着工を

**答** 今年度市において横手市都市地域総合交通戦略調査を行いその結果をふまえ、平成21年度に国から事業採択されるよう本年度中に都市計画決定の変更手続きを終了し、事業着工後は県市それぞれ整備区間をおおむね5年ないし7年で完了したいと考えている。



横手学校給食センターでの調理風景

**問** 地球温暖化により世界的な環境への関心が高まり、国でも、今秋からは温室ガス排出量取引制度が施行されようとしている。このような中で、民間企業は環境をテーマにイメージアップを行っているが、市有林等を有効に活用し、民間企業に貸出していただけるとうな施策は考えられないか。

**答** 国で検討している温室ガス排出量取引制度の部分については検討を要するかと思うが、企業の好ましいイメージを生み出すという観点での施策としてはスポンサーとなっていたたく企業にとつてもメリットがあると思うので、関係各課で検討していく。

**問** 市ではごみ処理統合施設整備推進本部を設置し、建設計画を策定するようだが、最新のごみ処理施設は、燃焼方式とごみを熱分解したあと発生したガスを燃焼または回収する装置を有する、エネルギー回収方式の施設等を組み合わせた複合施設となっている。施設建設費の面から、また、回収されるごみの量からも、建設には湯沢雄勝との広域的な視野で建設計画



東部環境保全センター

の策定を進めるべきと考えるが。

**答** ご指摘の通り、現在のごみ処理施設は、複合施設でなければならぬと考えており、その中で、市が推進しているバイオマスタウン構想と、どう位置付けるかということだと思いが、財政的に心配な面もあり、国の補助の行方にも左右されると思う。また、ごみの回収方法も大変な問題であり、相応な検討が必要と考えている。湯沢広域との共同施設は理想的ではあるが、施設建設の時期がずれており、現時点では難しいと考えている。

### 市有林の有効活用を

寿松木 孝